

2009年3月期
第2四半期 決算説明会

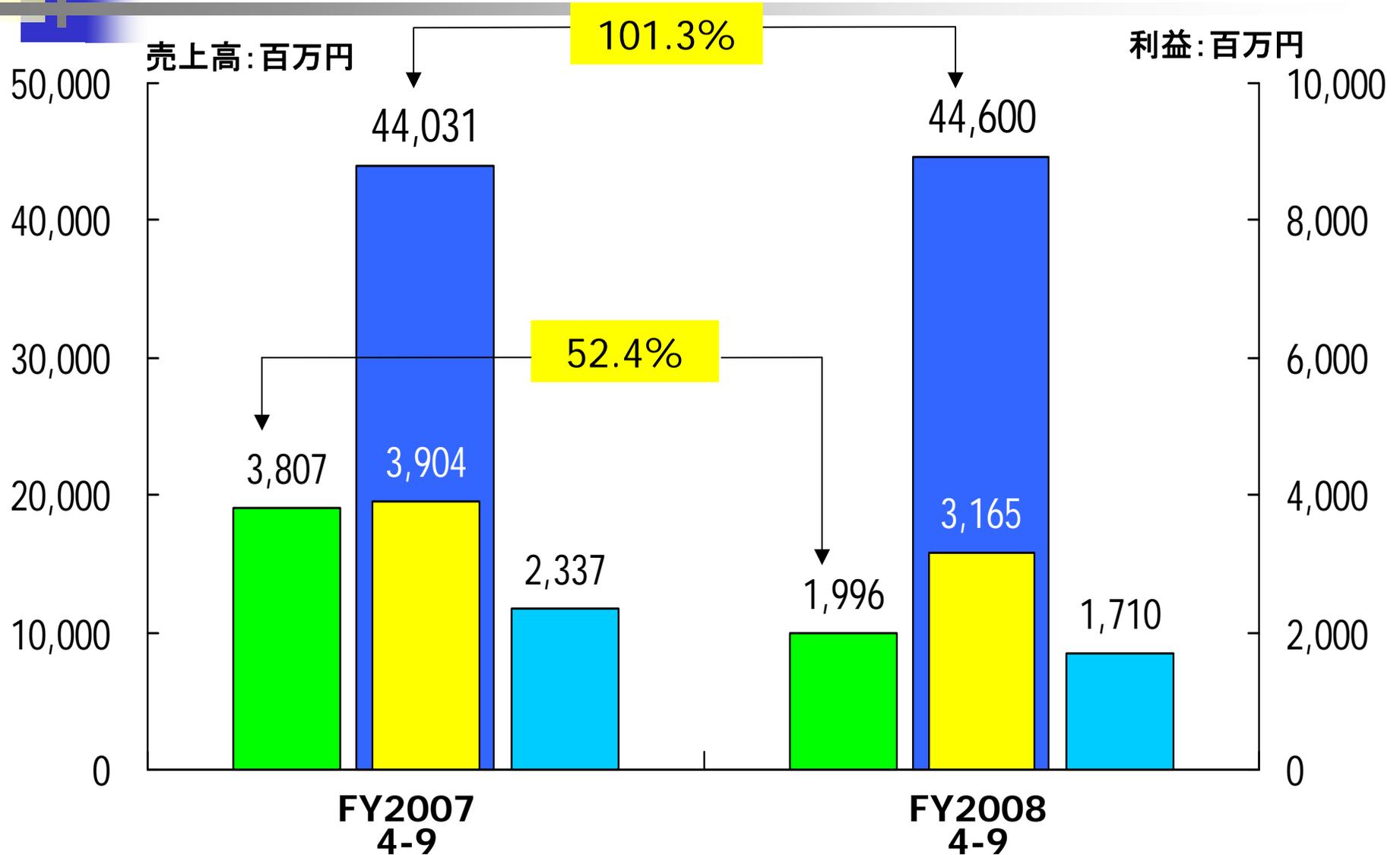
SMK株式会社

2008年10月29日

FY2008 第2四半期決算の概況

取締役 常務執行役員 山田 一

<連結> 第2四半期業績(4-9月)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

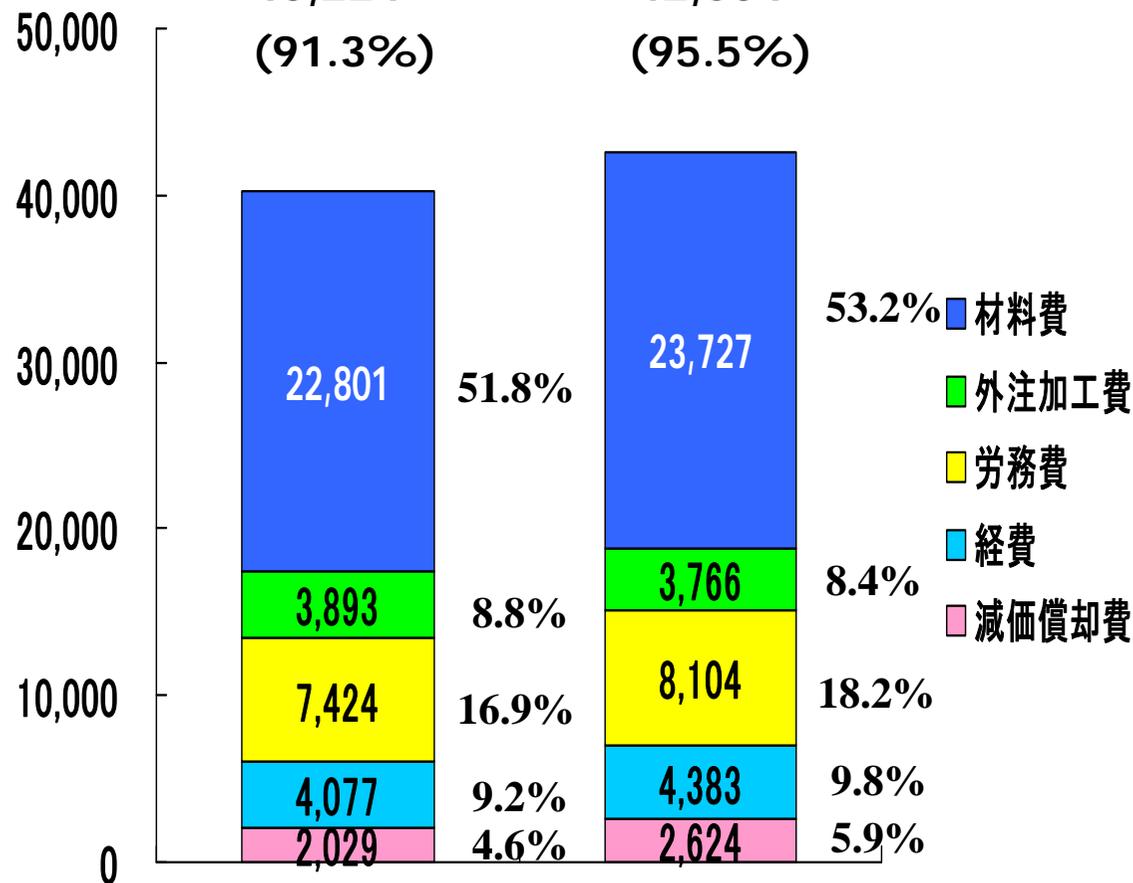
<連結> 営業費用

FY2007 4-9 FY2008 4-9 ():売上比

40,224 42,604

(91.3%) (95.5%)

(単位:百万円)



〔(材料費+外注加工費)1.0%悪化〕
60.6%→61.6% 約454百万円

〔労務費 680百万円増加〕

子会社新規連結(3社300名)
及び海外事業所の人員増

FY2007/4-9	13,000人	} 400人増
FY2008/4-9	13,400人	

主な増加工場
マレーシア、フィリピン

営業利益

3,807

1,996

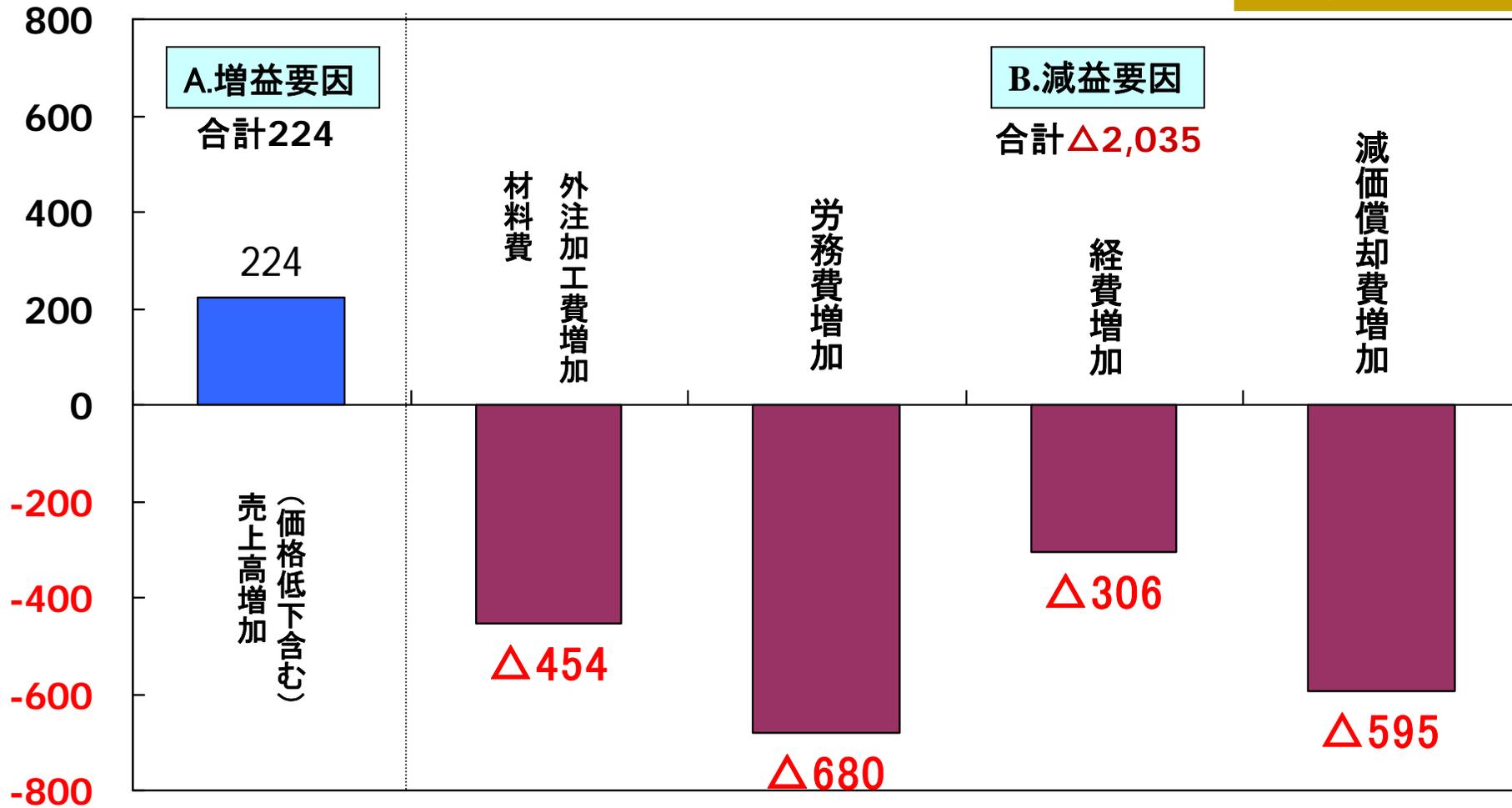
<連結> 営業費用分析

5/23

(単位:百万円)

連結営業利益増減要因分析 [FY2007 4-9 対 FY2008 4-9]

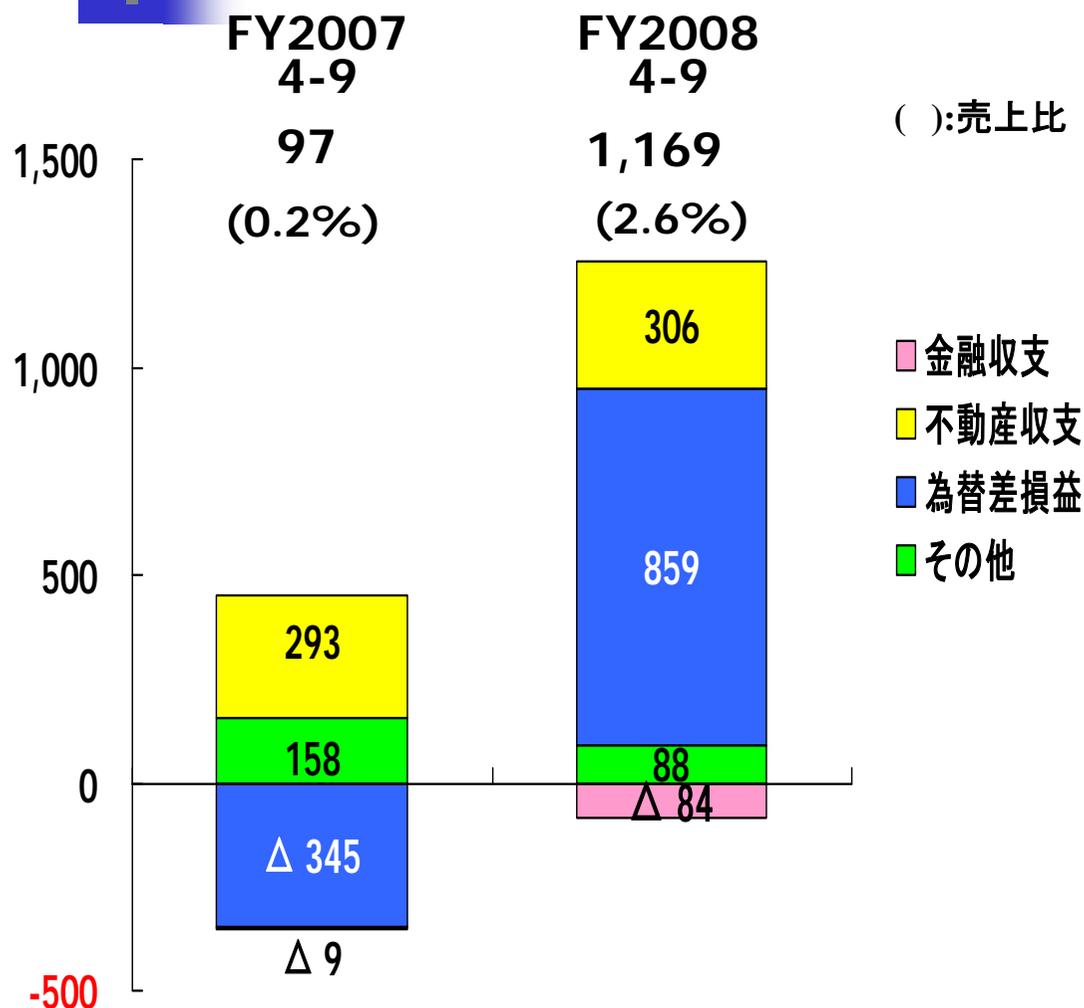
Net Total
△1,811百万円



<連結> 営業外損益

6/23

(単位:百万円)



前年同期比 +1,072百万円
 為替差益の増加 +1,204百万円
 前第2四半期 2.62円の円高
 (07/9月末)
 [118.05(07/3) - 115.43(07/9)]
 当第2四半期 3.38円の円安
 (08/9月末)
 [100.19(08/3) - 103.57(08/9)]

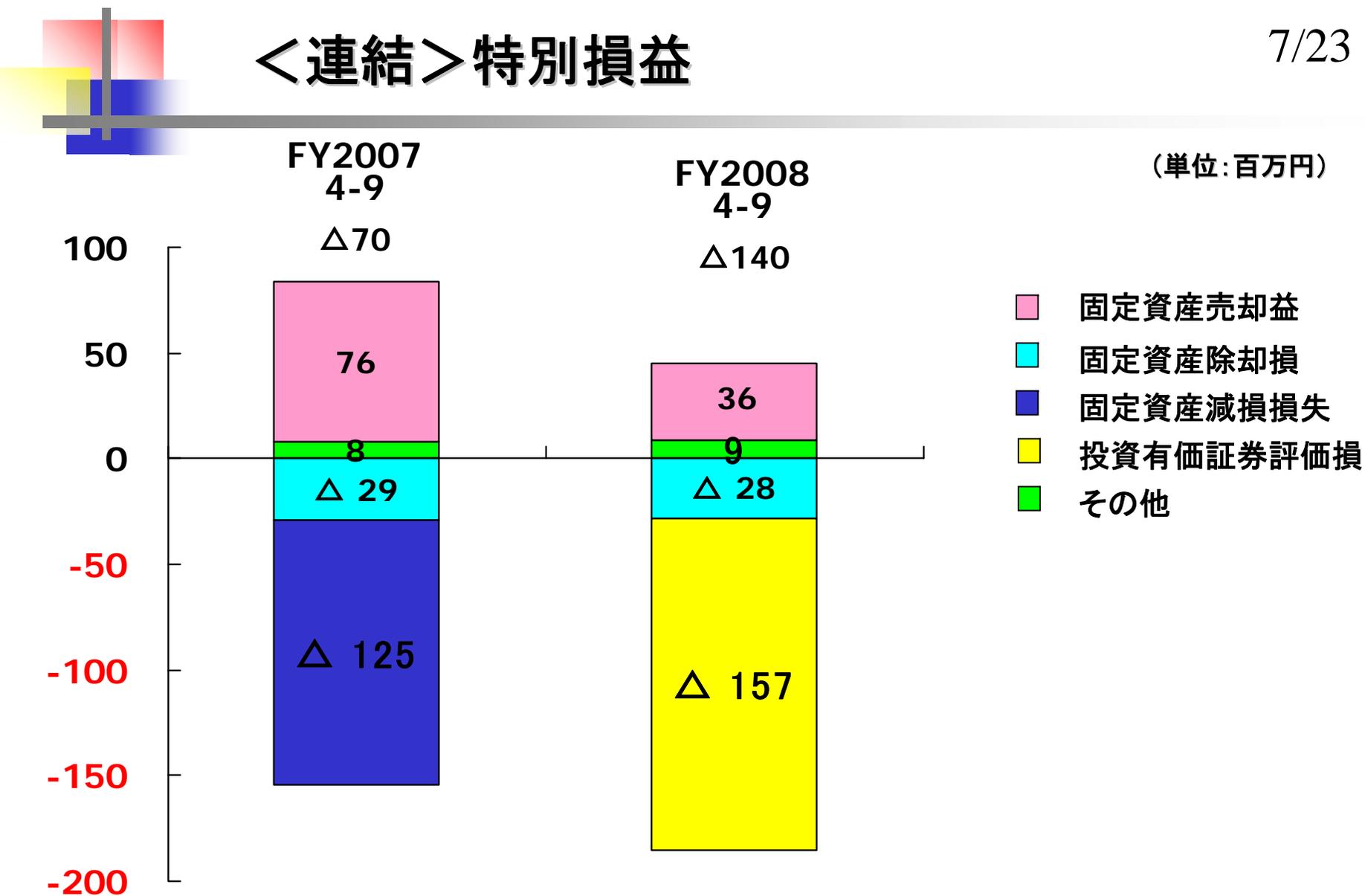
経常利益

3,904

3,165

<連結>特別損益

7/23



税引前利益	3,834	3,025
税金等(含税効果処理)	△1,497	△1,315
当期純利益	2,337	1,710

<連結> 業績推移(Q別)

8/23

. FY2008予想

(単位:百万円)

	上 期			下 期		通 期
	第1QTR (08/4~6) (実績)	第2QTR (08/7~9) (実績)	合 計 (08/4~9) (実績)	合 計 (08/10~09/3) (予想)		(08/4~09/3) (予想)
① 売上高 対前年比(%)	21,357 104.6	23,243 98.4	44,600 101.3	42,000 96.3		86,600 98.8
② 営業利益 対前年比(%)	1,067 62.1	929 44.5	1,996 52.4	1,604 86.8		3,600 63.7
③ 経常利益 対前年比(%)	2,141 90.5	1,024 66.6	3,165 81.1	1,935 457.4		5,100 117.9
④ 当期純利益 対前年比(%)	1,493 93.4	217 29.4	1,710 73.2	1,090 -		2,800 133.7

. FY2007実績

(単位:百万円)

	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (07/4~6)	第2QTR (07/7~9)	合 計 (07/4~9)	第3QTR (07/10~12)	第4QTR (08/1~3)	合 計 (07/10~08/3)	(07/4~08/3)
① 売上高 対前年比(%)	20,421 110.3	23,610 113.5	44,031 112.0	22,940 117.5	20,688 102.2	43,628 109.7	87,659 110.9
② 営業利益 対前年比(%)	1,719 109.7	2,088 119.6	3,807 114.9	1,541 169.3	306 32.4	1,847 99.7	5,654 109.4
③ 経常利益 対前年比(%)	2,366 143.6	1,538 70.4	3,904 101.8	1,652 141.1	-1,229 -203.7	423 18.0	4,327 69.9
④ 当期純利益 対前年比(%)	1,598 154.5	739 56.8	2,337 100.1	913 112.7	-1,156 -310.9	-243 -117.9	2,094 56.7

FY2008 第2四半期の実績と見通し

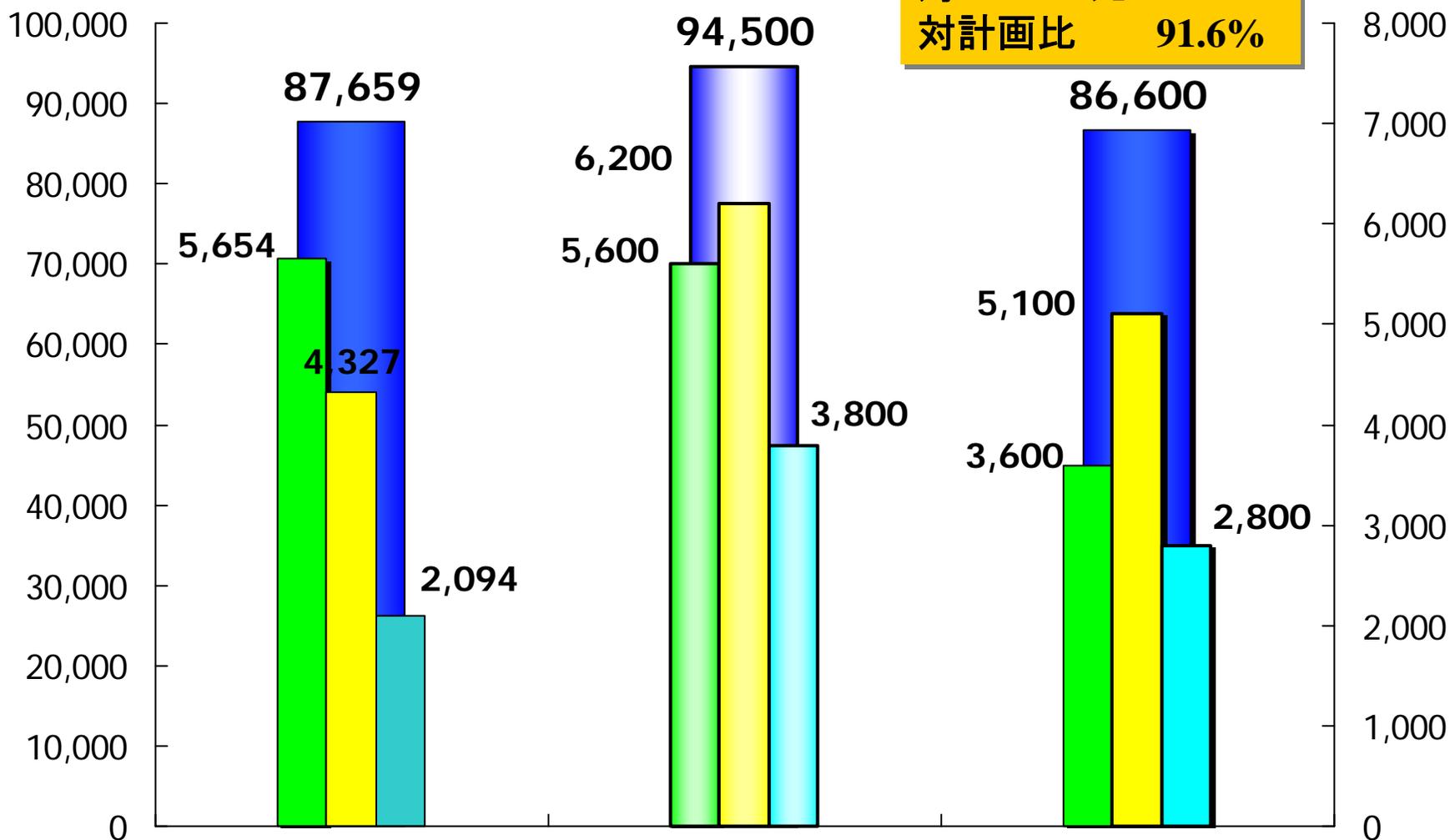
代表取締役 社長 中村 哲也

通期 売上高、利益推移 (FY2007~FY2008)

10/23

利益: 百万円

売上高: 百万円



対FY2007比 98.8%
対計画比 91.6%

FY2007実績 FY2008期初計画 FY2008今回修正計画

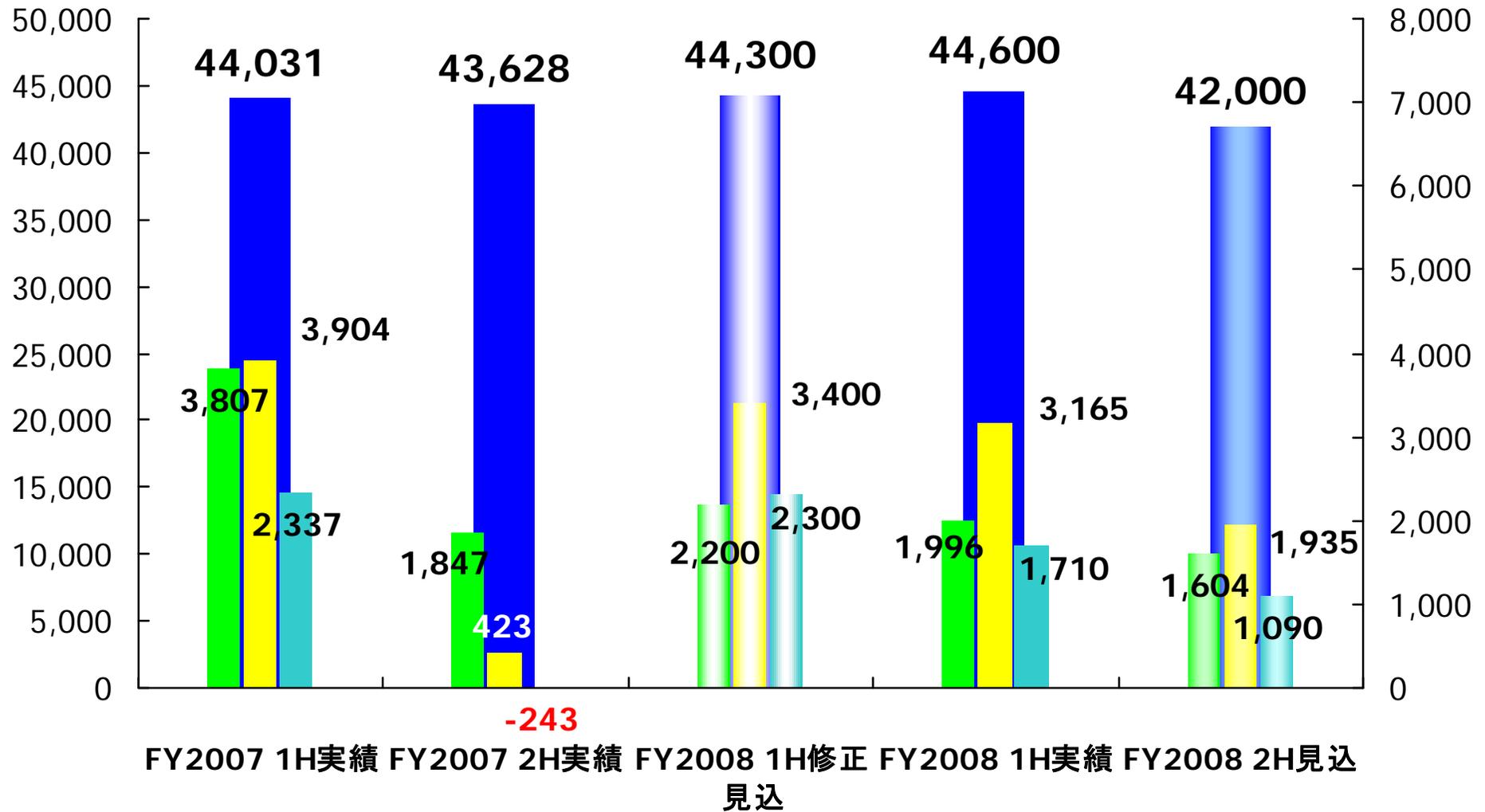
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期利益



半期別 売上高、利益推移 (FY2007~FY2008/2H)

売上高:百万円

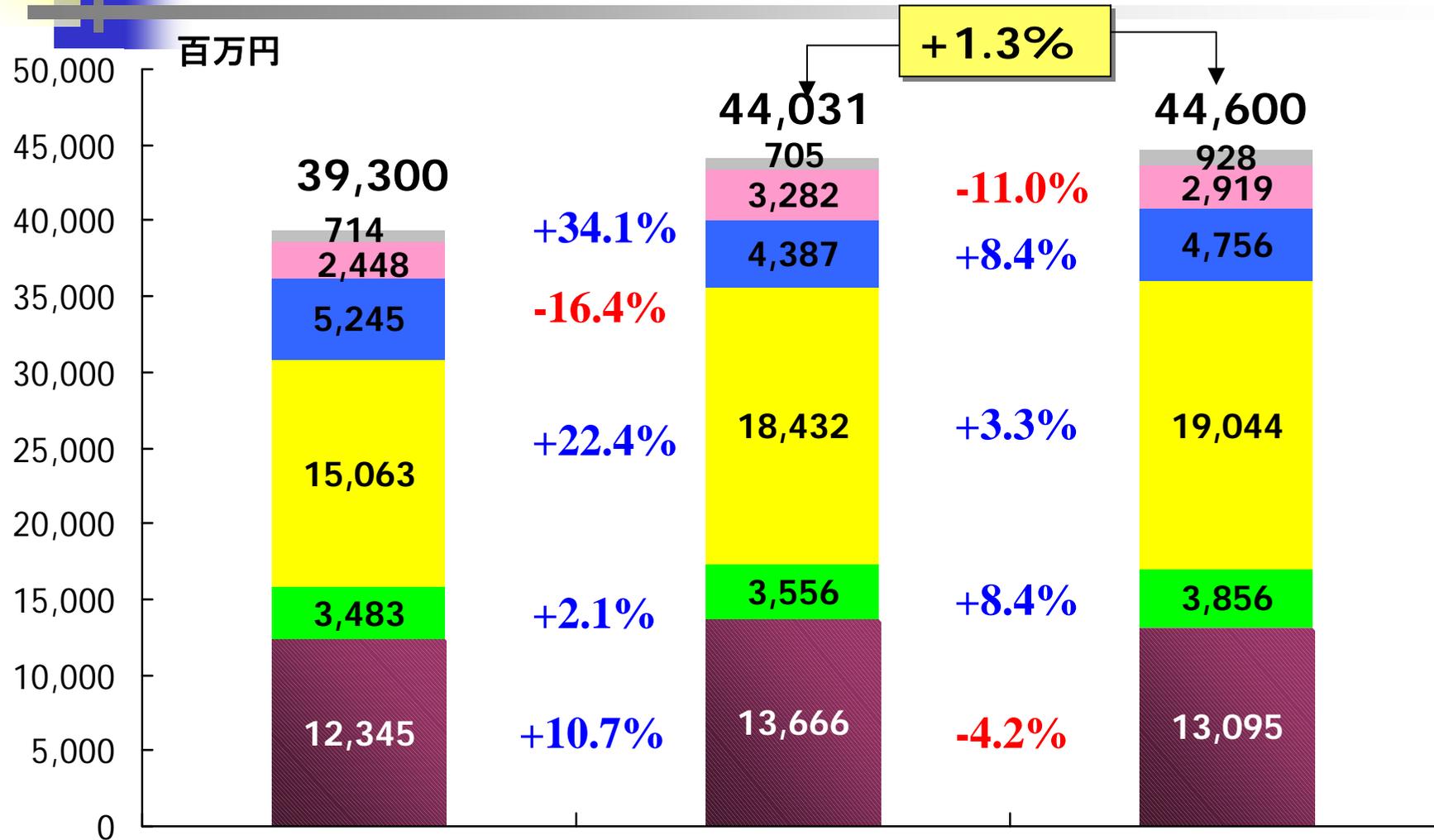
利益:百万円



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期利益

1H 市場別売上高(FY2006 ~FY2008)

12/23



FY2006 1H

FY2007 1H

FY2008 1H

■ 映像・音響部品

■ 電装部品

■ 通信部品

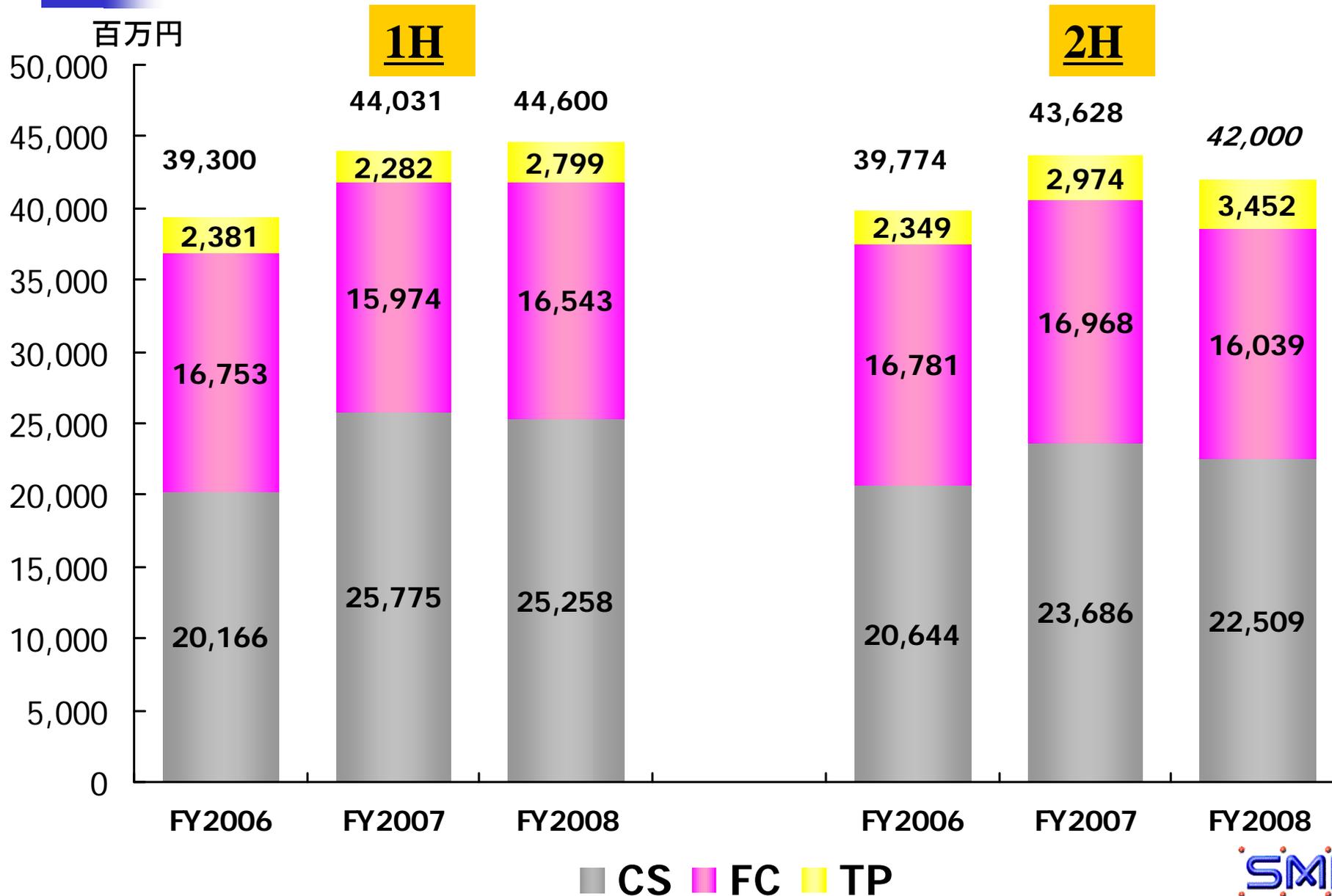
■ 情報事務機部品

■ 電子玩具・家電部品

■ その他部品



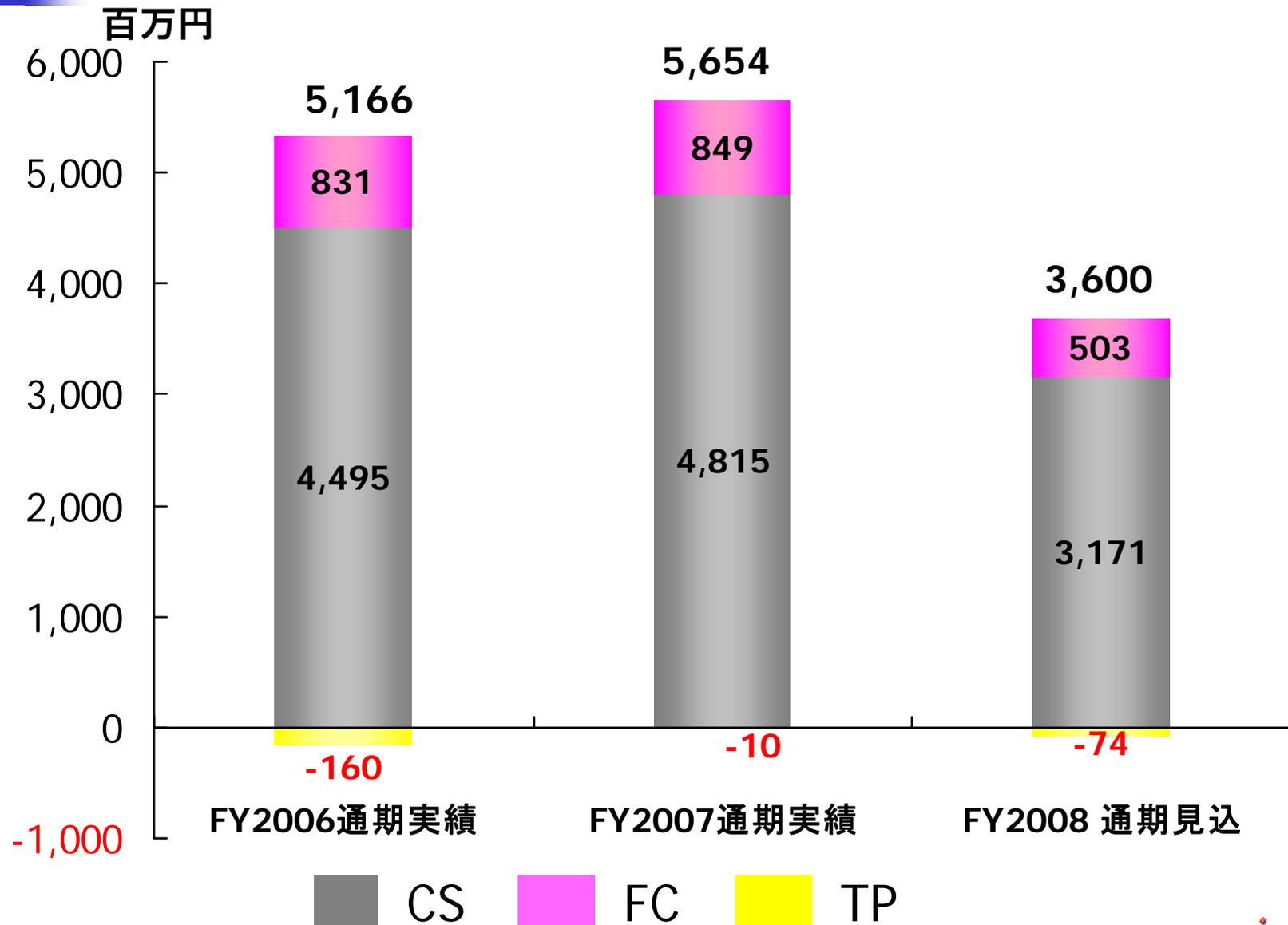
参考：事業部別売上高：1H,2H別 (FY2006～FY2008)



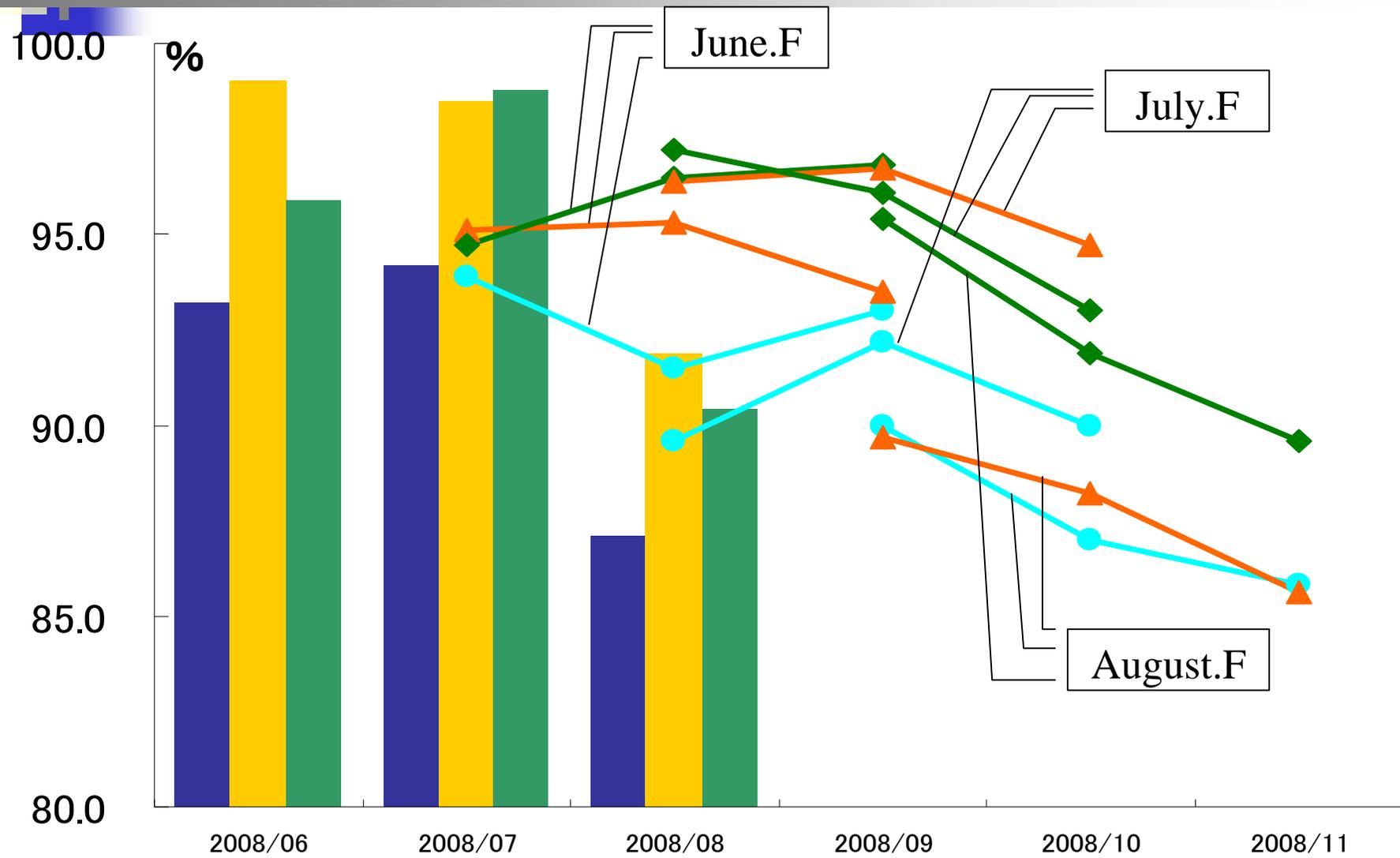
参考：事業部別営業利益

14/23

(FY2006～FY2008)



参考: JEITAによる電子部品市場予測



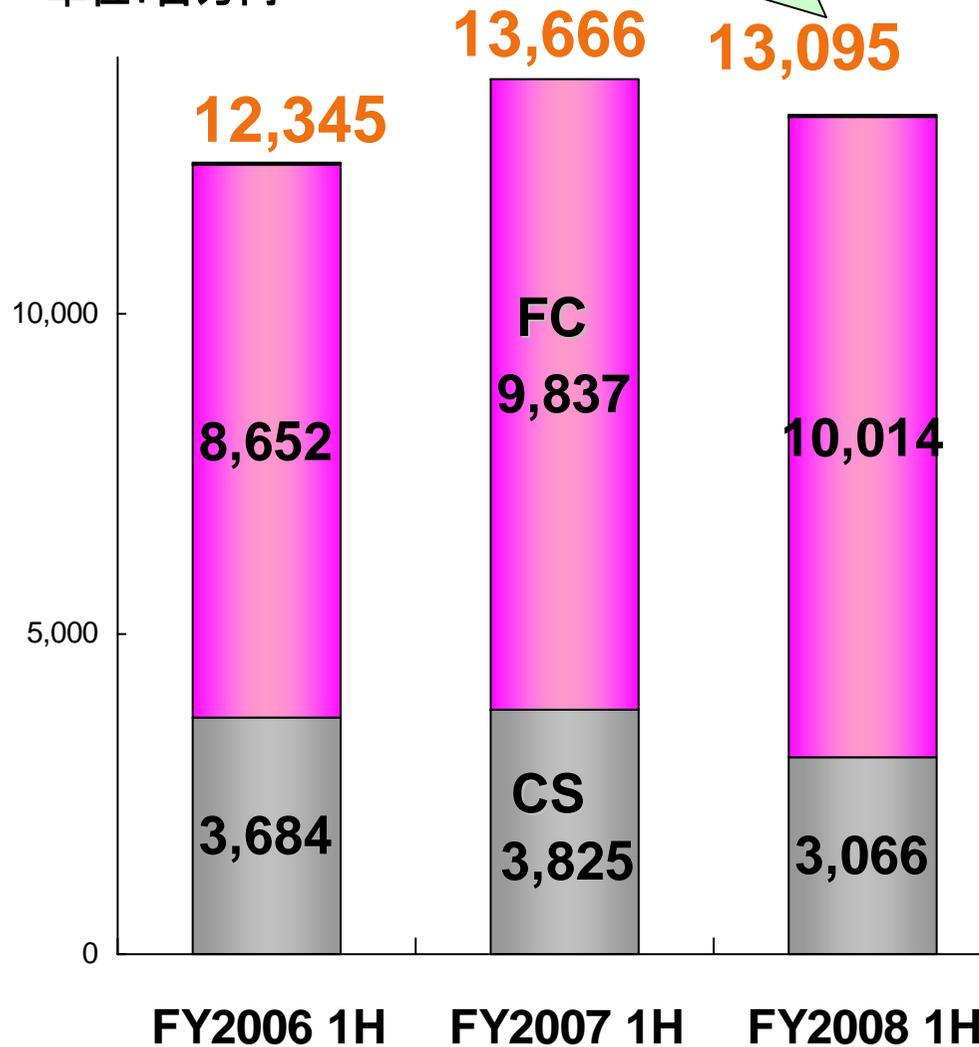
Result	Total	Switch	Connector
Forecast	Total	Switch	Connector



<売上>

前年比
95.8%

単位：百万円



リモコンの増大

薄型TV・プロジェクター向けリモコンの寄与

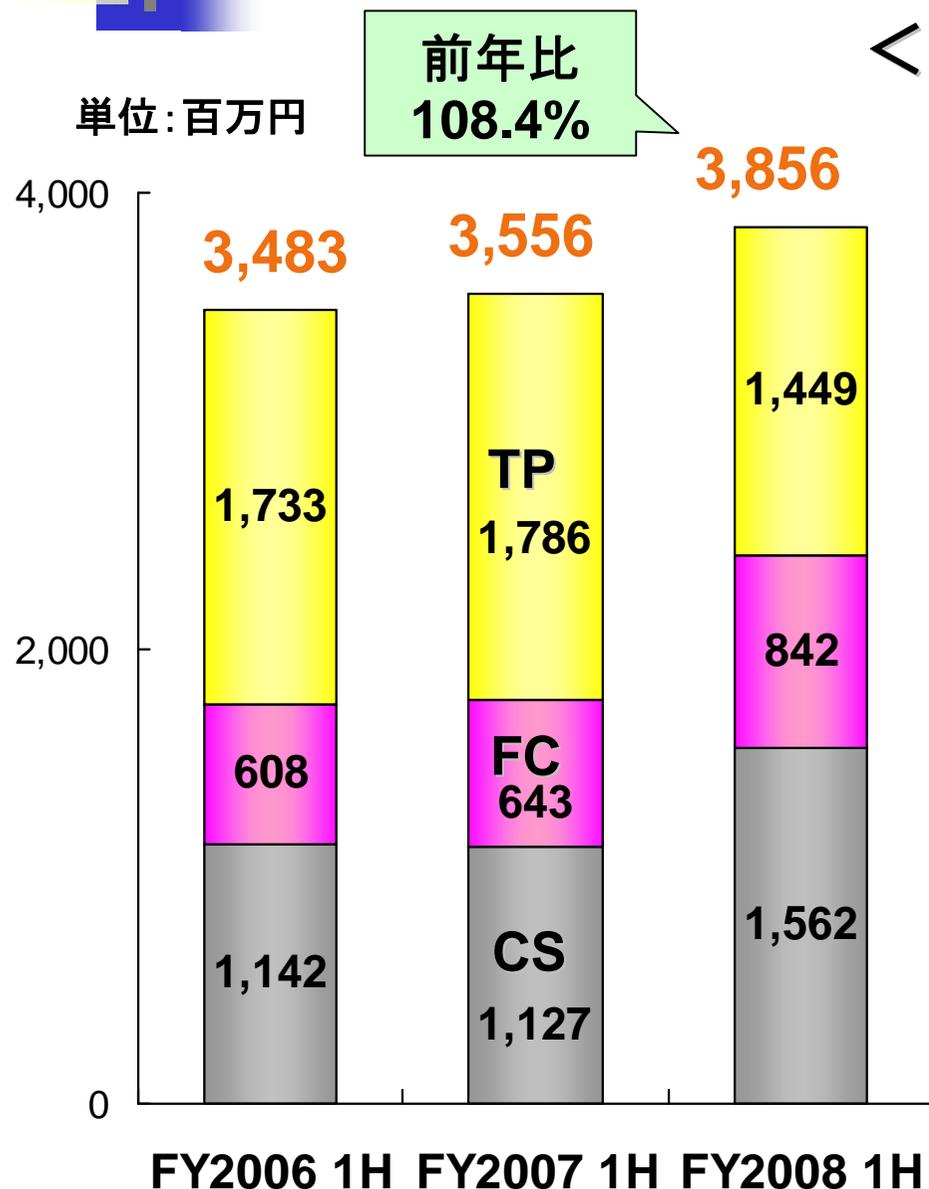


コネクタの減少

AVアンプ・薄型TV向けコネクタの減少



<売上>

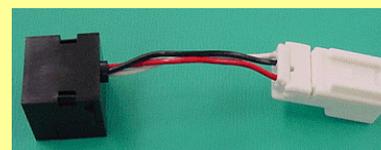


■コネクタの増加



国内向け地上波デジタルチューナー用アンテナコネクタ増

■リモコン、ユニットの増加



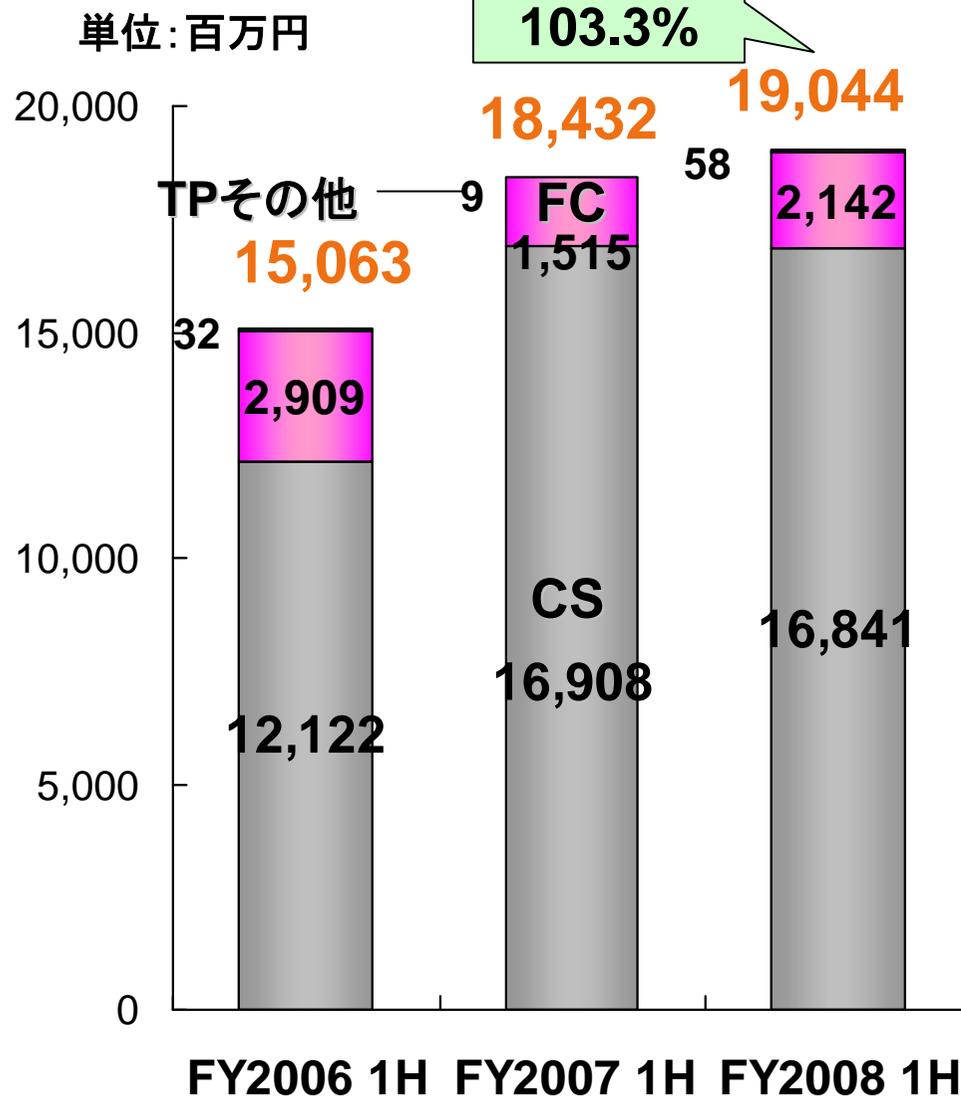
国内向け純正マイクユニットの増
国内向け純正 & 市販リモコンの増

■タッチパネルの減少



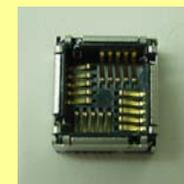
国内外向け純正タッチパネルの減

< 売上 >



■スマートフォン向け製品の拡大

北米を中心としたスマートフォン需要
好調に伴うコネクタ、スイッチの増加

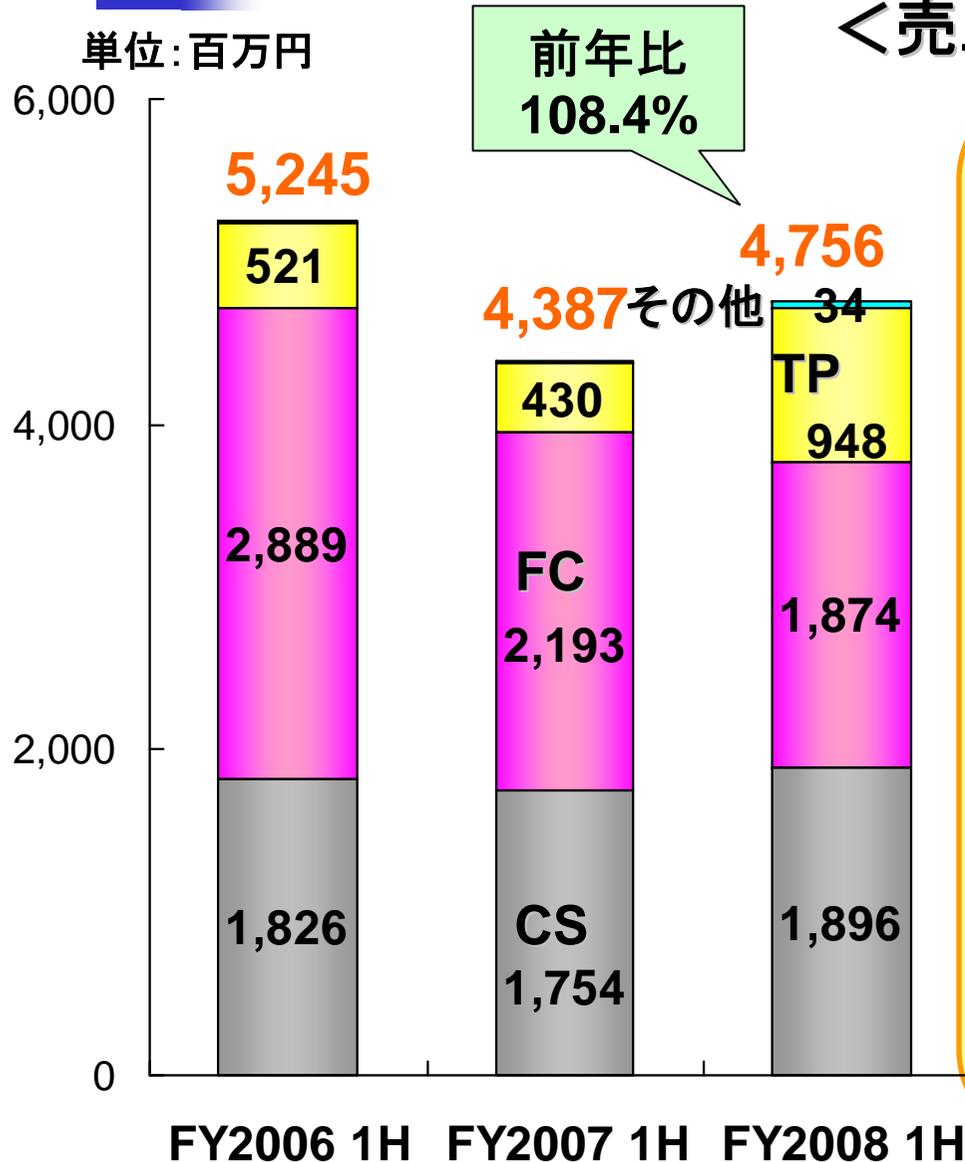


■コネクタの堅調

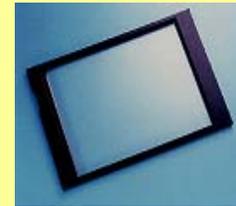
欧州大手メーカー向けコネクタが
堅調



<売上>



■タッチパネルの増加



海外市場向けATM需要好調による光式タッチパネルの増

■ユニットの減少



デジカメ向けクレードル、同梱減少による減

■コネクタの売上増加



デジタルカメラ用カードコネクタ、バッテリーコネクタの増加

市場環境の悪化への対応を最優先



適正利潤を伴った売上拡大路線は維持
但しいけいけドンドンの時代はしばらく休止

収益率の低い取引の見直し
(コスト削減、選択と集中)



売上拡大より 利益増(維持)に軸足

Topics1 : SMKホームページの改訂

The screenshot shows the SMK website homepage with a large light blue text box overlaid on the left side. The text box contains the following information:

- 大幅リニューアルを実施(2008年11月予定)
- 1.製品情報の充実
- 2.検索の充実(Google検索など)
- 3. CSRページの新設
- 4.見やすさ・使いやすさの向上

The background of the screenshot shows the website's navigation menu, search bar, and a 'What's New' section with a list of news items. The 'What's New' section includes:

What's New	プレスリリース	IRニュース	採用情報	イベント
2008/09/03	IRニュース	株式情報		
2008/09/03	IRニュース	IR説明会資料		
2008/09/17	IRニュース	IR情報		
2008/09/17	IRニュース	レポート・報告書		
2008/09/17	IRニュース	電子公告		

Below the news list is a 'トピックス' (Topics) section with the headline '新コンセプトリモコンの第2弾を発表' (Announcing the 2nd series of new concept remotes).

On the right side of the website, there are sections for 'お問い合わせ' (Contact Us), 'IR情報' (IR Information), and 'SMK-LINK' (SMK-LINK).

Topics2: SMK本社1Fエントランスの改装

22/23

- * 2008年8月末完成
 - * 25年振りの本格改修
- <目的>
- 1.ブランド力の向上
 - 2.リクルート効果
 - 3.社員の意識改革

Before



After



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。